



# 住みよい茨城づくりにむけて ～ 新年のご挨拶 ～

茨城県知事

茨城県統計協会総裁

橋 本 昌

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、アメリカの同時多発テロ事件や狂牛病問題など多端な一年でありましたが、年末には、敬宮愛子内親王殿下の御誕生や鹿島アントラーズのJリーグ二連覇達成など明るい話題が続いております。

今年2002年は、「アクアワールド茨城県大洗水族館」のオープンや、サッカーの世界カップ、インターハイといったビッグイベントの開催、さらには、童謡詩人野口雨情の生誕120周年の記念すべき年であるなど、国内はもとより世界から多くの人々が集い、にぎわう夢あふれる年になるものと期待しております。

このような機会を生かし、今年も、県民の皆様とともに、元気で住みよしいばらきづくりを進めてまいりたいと存じます。

まず、厳しい環境にある本県経済につきましては、国との連携を図りながら景気雇用対策に全力で取り組んでまいりますほか、狂牛病対策やセーフガード対策など農林水産業の振興に努めてまいります。

また、陸・海・空の交通ネットワークづくりとともに、高度情報通信基盤の整備に取り組み、人や物、情報などの一大交流拠点として、活力と魅力あふれる産業社会の形成を図ってまいります。

さらに、本格的な少子高齢社会に向けた福祉・医療体制の充実や、高齢者の健康づくり・生きがいづくりへの支援、結婚・出産・子育てに夢や希望の持てる環境づくりに積極的に取り組んでまいります。

教育問題につきましては、ティーム・ティーチング方式の一層の拡充を図るとともに、家庭や地域との連携のもと、お手伝い奨励事業や社会体験事業など教育内容の充実を図り、心豊かでたくましい子どもたちを育成してまいります。

このような施策を総合的に進め、21世紀が真に「茨城の時代」となるよう全力を尽くしてまいり所存でございますが、そのためには的確な現状把握と将来予測が不可欠であり、正確で迅速な統計情報の収集に努めてまいります。また、県民の皆様いつでも簡単に利用していただけるよう、インターネットなど各種のメディアを活用した、わかりやすく使いやすい統計情報の提供に力を入れてまいります。

一方で統計調査を取り巻く環境は、プライバシー意識の高揚や生活様式の変化などにより、年々厳しくなっております。県といたしましては、統計の有用性を広く広報し、県民の皆様のご理解が得られるよう努めてまいります。統計調査への皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

おわりに、皆様方のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。